



～ 夢ひとすじに ～
宮原中だより
学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

令和 6 年度 第 6 号
令和 6 年 9 月 2 7 日 (金) 発行
さいたま市立宮原中学校
ホームページアドレス
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp

『僕にしかできないこと—同じじゃないから強いんだ—』

校長 田 中 和 浩



「暑さ、寒さも彼岸まで」。昔からの言い習わしで、夏の厳しい残暑もお彼岸の頃には落ち着き、徐々に秋らしくなると言われています。今年のお彼岸は9月19日(木)から25日(水)まででした。朝晩は、ずいぶん涼しくなったように感じます。季節の変わり目といえるでしょう。寒暖差が大きくなるため、衣服で調節して体調を崩さぬよう、みなさん、お気をつけください。

さて、先日、図書館の本棚を眺めていて目に留まった本について紹介します。「大人に言えない小さな悩みが少しだけ軽くなる本」(監修:田村節子 発行:Gakken)です。だれもが経験する思春期の悩みに対して、マンガと短めの文章で心を軽くするヒントをくれる本になっています。

みなさんは「自分だけがうまくできない」と思って落ち込んでしまう経験はありませんか?このように落ち込んでしまうときは、自己嫌悪(じこけんお)におちいつている状態といえます。自己嫌悪におちいりやすい人は、まじめな人や完璧主義の人、責任感の強い人があてはまるそうです。

ですが、この世の中には、なんでもできてしまう「完璧な人」はいません。誰にでも、苦手なことやできないことがあります。「自分だけがうまくできない」ということはないのです。「自分だけできない」と思っているのは、案外、自分だけで、まわりの友達はそのようなふうに自分のことを見ていないかもしれません。中学生の間はとくに、心と体が大きく成長していく時期です。周りの人とくらべるばかりではなく、ちょっと前の自分と比べて「それまでできなかったことができるようになったこと」に目を向けてみてください。

また、苦手なことを得意にしようと努力することは素晴らしいことです。しかし、「苦手なこともあれば、得意なこともあるのが自分なのだ」と視点を変えてみることも大切であると思います。

今月の学校だよりのタイトルは、2019年ラグビーワールドカップ日本大会が放送された番組内限定で流れた三菱地所のCM「僕にしかできないこと」編からつけました。ラグビーを通して成長する2人、足が速くなりたい大介と力が強くなりたい小次郎が自分にしかできないことに気づくCMを検索して観てみてください。

「明日(あす)も進むいのちの日」における取組について

平成23年9月29日、さいたま市立小学校6年生の桐田明日香さんが駅伝の课外練習中に倒れ、救急搬送された後、翌日に亡くなるという大変悲しい事故がおきました。さいたま市教育委員会では、事故をめぐる対応の在り方について掘り下げて教訓を明らかにし、「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」を作成しました。各学校では、毎年テキストをもとに教員研修を実施するとともに、主体的に救命活動ができる児童生徒を育成するための救命教育の在り方や実践方策について研究が続けられています。また、さいたま市教育委員会では、9月30日を「明日(あす)も進むいのちの日」と制定して、全市立学校において、AEDの一斉点検及び児童生徒へのAEDの設置場所等の確認を行っています。